

須木中だより

第17号 平成31年2月8日発行

寒さに負けず

立春を過ぎ、暦の上では春ですが、まだしばらくは寒い日が続くことと思います。風邪やインフルエンザの予防に気を配りながら、寒さに負けず、元気に過ごしましょう。



私立入試・県立推薦入試 が終わりました。

《がんばれ、3年生》

すでに、進路先が決定している生徒もいますが、来月5日・6日の県立一般入試に向けていよいよラストスパートに入ってきました。入試はチーム戦。

3年生12名全員が春には互いに喜び合えるまで、みんなで頑張り抜いてほしいと思います。

子どもの個性と夢



6日(水)に第6回家庭教育学級が開催されました。

今回のテーマは「子どもの個性と夢」。

サポートプログラムトレーナーの片地亜理沙様を講師にお迎えし、子どもの長所や短所を見つめ直し、短所も肯定的に捉えながら自分の子どもの個性を考える学習プログラムとして行われました。また、「短所を長所に変えたいやき」というカードを使っての活動を行い、参加者全員に「うちの子のPR」と題して、我が子のよさを発表してもらいました。

最後は東日本大震災で被害に遭われた子どもたちや母親が登場する絵本「ひまわりのおか」の読み聞かせも行っていました。心温まる充実した研修となったようです。

皆様、おつかれさまでした。



『こぼやし駅伝競走大会』

先月27日(日)に「第68回こぼやし駅伝競走大会」が開催され、須木地区は上位入賞こそありませんでしたが、持てる力を発揮し、精一杯頑張っていました。

選手はもちろん、控え選手として一緒に随行された方々、さらに監督、役員の皆様の支えもすばらしかったです。お疲れ様でした。



『市善行生徒』及び『標語』の表彰

1日(金)に小林中央公民館にて、表彰式が行われ、3年生の京保里南さんが小林市青少年育成市民会議の「善行児童生徒」に、また、3年生の花牟禮紗弥さんが家族の標語で、中学生の部最優秀賞に輝き、それぞれ表彰を受けました。たいへんうれしいことです。

おめでとうございます。



※ 須木中だより第16号でご紹介しました「宮崎牛学校給食プロジェクト」の中で、来校された今村祥二様を野尻庁舎と間違えて記載していました。正しくは須木庁舎です。訂正してお詫びいたします。